

### 第1節 大綱

発掘調査の結果、史跡郡里廃寺跡は、美馬市美馬町の郡里地区に所在する阿波地域最古級の寺院跡で、主要な伽藍のみを配置する地方寺院様式をとり、塔跡基壇などが残る徳島県を代表する重要な遺跡であることが判明している。四国で有数の石室規模を持つ史跡段の塚穴と地理的にも年代的にも近接しており、両者には密接な関係がうかがえる。また、「郡里」という地区名から連想されるとおり、郡衙の存在も想定されており、古代の美馬郡における中心地であったことが考えられる。

周辺には、農村地帯が広がり、吉野川や剣山などの眺望にも恵まれ、古代寺院が存在した往時の姿は、地域の発展も含め、華やかであったと想像される。

本史跡を含む旧美馬郡の吉野川流域には、「段の塚穴型石室」を持つ多くの古墳や岩倉城跡・脇城跡、美馬市脇町南町伝統的建造物群保存地区など地域の豊かな歴史と文化を物語る多くの文化財が分布しているが、時代が進むごとにつれて美馬地方の中心地が郡里地区から東に移ったと考えられる。

本史跡に近接する形で、願勝寺や安楽寺などからなる寺町地区が存在しており、様々なイベントや観光ガイドをするなど地域の住民活動が活発で、史跡のまち美馬の歴史遺産の活用を行っている。このような地域の活性化の点においても、本史跡は、重要な資源であり、有効に活用したまちづくりが望まれている。

そのため、本計画では、本史跡を次世代に向けて確実に保存・継承していくための保存管理方法を明示するとともに、史跡の価値を顕在化させるための活用・整備に向けての方針を提示し、それらを着実に進めていくための管理・運営等の体制構築の方針も示すものとする。

以下に本史跡の望ましい将来像を示す。

#### 古代美馬郡の中心地「郡里廃寺跡」の保存と再興を目指して

- ・ 古代美馬郡の政治・文化の中心地であった「郡里廃寺跡」を拠点として、地域の個性的で魅力的な歴史・文化を体感することができる場として整備し、末永く後世に伝える。
- ・ 史跡「段の塚穴」をはじめとする周辺の文化遺産と連携して、地域の歴史的・地理的・独自性を学ぶことができる場であるとともに、市民をはじめ多くの人に情報発信するための場とする。
- ・ 児童や生徒を含めた地域住民をはじめ、多くの人々にとって、豊かな自然の中で古代美馬郡が育んだ歴史・文化を感じる憩いの場とする。
- ・ 古代美馬郡の政治・文化の中心地であった「郡里廃寺跡」を核として、史跡「段の塚穴」や寺町地区の文化財や道の駅「みまの里」とネットワークを構築し、地域活性化を図る。

## 第2節 基本方針

### (1) 保存管理の基本方針

本史跡指定地は、その重要性から史跡指定の後、公有化を開始しているが、令和3年度に完了し、指定地全体を保存する準備が整った。しかし、塔跡基壇と礎石だけでは、住民が往事の郡里廃寺を具体的に思い浮かべることは難しいという課題もある。

地域の歴史的重要性を物語る本史跡を確実に保存するため、追加指定や土地の公有化を進め、関連する周辺地域も含めて保存管理を図るとともに、整備を進めるにあたって情報が足りない部分については、必要に応じて発掘調査を行う。

本史跡指定地内には、市道、市営住宅などといった公共インフラや施設が存在することから、史跡の管理者である美馬市と関係機関、土地所有者等との調整を密にし、本遺跡の保存を図る。

### (2) 活用の基本方針

地元の児童や生徒を含む市民や来訪者が本史跡の特徴や歴史的価値を理解するとともに、親しみや魅力を感じることができるよう様々な活用を積極的に行う。さらに本史跡の価値がより明瞭になるよう、史跡段の塚穴、中世寺院が集まる寺町地区や美馬市の広域の文化遺産とも連携した活用を進める。

一方で歴史学習や観光だけではなく、地域活性化のための活用も積極的に受け入れ、人が集まり多彩な活動ができる場となることを目指す。

### (3) 整備の基本方針

史跡の保存を目的とした整備のほか、各種調査の成果に基づき古代寺院の規模や姿、担ってきた役割を伝えるための整備を行うとともに、見学者、利用者の安全確保や利便性の向上を図る。本史跡を横断している市道は、代替道路が開通するまでは残置し、史跡と共存できる景観整備を検討する。代替道路開通後は、指定地内の市道の撤去を行う。

本史跡は、扇状地傾斜面に位置するため、整備により隣接の住宅地に水害等の被害が及ばないように十分に注意する。

また、史跡周辺においてガイダンス施設の設置を検討する。ガイダンス施設を拠点として、道の駅「みまの里」や寺町をはじめ、史跡段の塚穴や美馬市脇町南町伝統的建造物群保存地区など本史跡周辺に存在する様々な歴史的資源をつなぎ、魅力を高め合う整備を目指す。

### (4) 運営体制の基本方針

史跡の保存管理・活用・整備を適切かつ効果的に行えるよう、運営体制を強化する。運営の中心は、美馬市教育委員会であるが、史跡に対する愛着や誇りを感じ、深めてもらうため、地域住民や様々な団体と連携する。活発で円滑な運営を行うために関係団体が情報共有し、参加できる仕組みづくりを行う。